




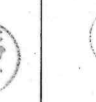




代表幹事	事務局			起案者
	事務局長	合議		
			   	
起案	2020年	5月	29日	公印 
決裁	2020年	5月	29日	
施行	2020年	5月	29日	
指示事項又は意見				
件名	補助事業等実績報告について			
標記の件について、補助事業年度の終了に伴い、米子市長に対し、下記のとおり補助事業の実績報告をいたしたく伺います。				
記				
1 交付決定日	令和元年6月6日（人起第364号-2）			
2 交付決定額	330,000円			
3 補助金受領日	令和元年6月21日（概算払）			
4 精算額	330,000円			
5 実績報告書	別紙（案）のとおり			

令和2年5月29日

米子市長 伊 木 隆 司 様

補助事業者等 米子市東町161番地2
米子市人権問題企業連絡会
代表幹事 山 根 卓 二

補 助 事 業 等 実 績 報 告 書

令和元年6月6日付け人起第364号-2で交付決定の通知のありました補助金等に係る補助事業等の実績につきまして、米子市補助金等交付規則(平成17年米子市規則第46号)第18条の規定により、次のとおり報告します。

記

- | | | |
|---|------------------------------------|----------|
| 1 | 補助金の交付決定額 | 330,000円 |
| 2 | 補助金等の精算額 | 330,000円 |
| 3 | 補助金等の既受領額及び受領日
概算払(令和元年6月21日受領) | 330,000円 |
| 4 | 補助事業の実施期間
平成31年4月1日~令和2年3月31日 | |
| 5 | 添付書類
(1) 事業報告書
(2) 収支決算書 | |

2019年度事業報告

米子市人権問題企業連絡会は、1996年の設立以来、会員企業相互の連携を密にするとともに、企業内はもちろん、社会に人権を定着させるための様々な取り組みを進めてまいりました。依然として、同和問題をはじめとするさまざまな人権課題を解決できない状況が続いており、またLGBT等新たな人権課題が注目される中、各企業には、従業員・顧客の人権を尊重した企業体質の構築や企業倫理としてのコンプライアンスの実践など、ますますの努力が求められています。各企業はその社会的責任をしっかりと自覚し、人権問題に対する正しい理解と認識を深めなければなりません。

このような状況の下、2019年度も企業内研修をはじめ各種研修会を開催し、企業トップから従業員一人ひとりの人権意識の高揚を図ることで、差別のない明るい職場づくりと公正採用選考の推進等に努めてまいりました。

6月3日に開催しました定期総会の記念講演として、[]の []さんに「最近の人権問題の動向等について」と題して、ハラスメント、外国人労働者、LGBTを中心に、最新の社会情勢や法改正の内容、今後の方向性や課題について、講演いただきました。

6月24日には新規採用者研修会を開催し、[]の []さんに「限界のない人権学習から学ぶ」と題して同和問題についての講演、また []の []さんに電話対応のあり方について実技を加えてご指導いただきました。

12月2日には、人権問題研修会を開催し、[]の []さんに「障がい者雇用について～障がい者とともに働くために～」と題して、「障がい者として働く立場」と「障がい者を雇用する立場」の両方の視点から、ご自身の体験談を含めながら分かりやすく講演いただきました。

3月5日には、トップ及び担当者等研修会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止としました。

その他、全国集会では、「部落解放・人権西日本夏期講座」「部落解放研究全国集会」「人権啓発研究集会」「全国企業連絡会全国集会」等に多数の方にご参加いただき、人権問題の解決に向けた学習と交流を深め、資質の向上を図ることができました。

「第44回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」は倉吉市で開催され、県内企業の取り組みなどを学ぶことができました。

「第45回米子市人権・同和教育研究集会」では、第6分科会で菅公学生服(株)米子工場の穂山康夫さんが『外国人実習生と向き合って「福笑い」』と題して発表され、それをもとに熱心に討議を行い、研修を深めることができました。

機関紙「人企連だより」で活動の様子を会員企業の皆様にお知らせいたしました。

会員企業のみなさまのご協力もあり、2019年度末の会員数は3社増えて70社となりました。今後とも新会員の獲得と魅力ある企業活動の充実のため、会員企業が共に手を携え邁進していきたいと思います。

2019年度事業日誌

(敬称略)

月	日	事業内容	場所	参加者
4	12	2018年度会計監査会	米子市役所	会計監査
4	23	第1回幹事会 ・総会議案について ・意見交換	ANAクラウンブ ラザホテル米子	幹事 会計監査
5	23	平成31年度米子市人権・同和教育推進協議会総会	米子市役所	代表幹事
6	3	総会 ・2018年度事業報告 ・2018年度収支決算報告及び監査報告 ・2019年度事業計画(案)について ・2019年度収支予算(案)について ・役員を選出(案)について ・第2回幹事会(代表幹事・副代表幹事の互選) ・記念講演:最近の人権問題の動向等について 講師: ()	米子コンベンショ ンセンター	33社 36名
6	24	新規採用者研修会 ・講演:「限界のない人権学習から学ぶ」 講師: () ・講習:「電話対応マナー研修～ビジネス電話の基本と話し方～」 講師: ()	米子市文化ホール	18社 60名
6	26 27	第44回部落解放・人権西日本夏期講座 ・講演:「語り継ぐ 島の暮らしとハンセン病問題」 講師: 森 和男 (大島青松園自治会会長) ・講演:「香川県における障がい者差別解消の取り組み」 講師: 香川県健康福祉部障害福祉課 ほか	レグザムホール ほか (高松市)	7社 13名
7	10	三市同企連・人企連情報交換会 ・各市同企連・人企連の活動状況について ・意見交換	米子市立図書館 (米子市)	代表幹事 事務局長
8	8	第44回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 ・講演:「どんな性の在り方も排除されない園・学校・職場・地域とは?～子どもたちとの出会いから見えてきたこと～」 講師: にじいろ i-Ru (アイル) 田中 一步・近藤 孝子 ・4分科会8分科会	倉吉未来中心ほか (倉吉市)	15社 30名

月	日	事業内容	場所	参加者
10	15	部落解放研究第53回全国集会	名古屋国際会議場	5社
	16	・講演：「教育問題からみた日本の社会と政治」	ほか	10名
	17	講師：内田 良（名古屋大学准教授） ・報告：「愛知の部落解放運動の歴史—成果と課題—」 講師：山崎 鈴子（部落解放同盟愛知県連合会書記長） ほか	（名古屋市）	
12	2	人権問題研修会 演題：「障がい者雇用について～障がい者とともに働くために～」 講師：██████████（██████████）	米子市文化ホール	19社 33名
12	6	第36回同和問題に取り組む全国企業連絡会全国集会 ・講演：「オール1の落ちこぼれ、教師になる～いじめ、引きこもり、天涯孤独の絶望を乗り越えて～」 講師：宮本 延春 ・イベント：「私が障がいについて語るなら～差別・偏見のない社会に向けて～」 講師：佐野 有美	名古屋市公会堂 （名古屋市）	3社 5名
1	23	第45回米子市人権・同和教育研究集会 ・全体会来賓：山根 卓二（米子市人権問題企業連絡会代表幹事） ・意見発表：小学生、地区人権・同和教育推進協議会 ・記念講演：「性はグラデーション～ありのままのあなたが輝ける未来を～」 講師：東根 歩夢、中川 未悠（トランスジェンダー当事者） ・7分科会 第6分科会：企業・行政・職域での人権教育をどう推進するか 発表：「外国人技能実習生と向き合って『福笑い』」 発表者：亀山 康夫（菅公学生服（株）米子工場） 運営委員長：山本 朝也（日ノ丸自動車（株）米子支店） 研究推進員：田中 隆（（株）日本交通旅行社米子営業所）	米子市文化ホール ほか	21社 44名
2	26	第34回人権啓発研究集会	沖縄コンベンションセンターほか	2社
	27	・講演「構造的差別と沖縄の基地」 講師：島袋 純（琉球大学教授） ・講演：「沖縄の若者たちの生活—ふたつの社会調査から」 講師：上間 陽子（琉球大学教授） ほか	（宜野湾市）	4名
3	5	トップ及び担当者等研修会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	米子市文化ホール	—社 —名
3	13	人企連だより発行		

第2号議案

2019年度収支決算

(1) 一般会計収支決算

収入の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	決 算 額 の 内 容
1 会 費	1,119,000	1,135,200	16,200	～ 29人 @ 5,000 × 11 社 = 55,000円 (途中入会) @ 1,200 × 1 社 = 1,200円 30 ～ 99人 @10,000 × 29 社 = 290,000円 (途中入会) @9,000 × 1 社 = 9,000円 100 ～199人 @20,000 × 16 社 = 320,000円 200 ～299人 @30,000 × 7 社 = 210,000円 300 人～ @50,000 × 5 社 = 250,000円 70 社 1,135,200円
2 雑 入	482	5,608	5,126	預金利息 (上期3円、下期5円) 等
3 繰越金	430,518	430,518	0	前年度繰越金
合 計	1,550,000	1,571,326	21,326	

支出の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	流用額 (B)	決算額 (C)	比較増減 (C-(A+B))	決 算 額 の 内 容
1 会議費	115,000	0	79,899	△ 35,101	幹事会、総会
2 事業費	1,234,000	0	489,436	△ 744,564	
(1) 研修費	827,000	0	313,042	△ 513,958	研修会、全国集会参加費
(2) 旅 費	302,000	0	110,284	△ 191,716	全国集会旅費、鳥取県研究集会旅費
(3) 啓 発 費	105,000	0	66,110	△ 38,890	人権啓発DVD購入費
3 事務費	130,000	0	110,778	△ 19,222	
(1) 通信運搬費	80,000	0	79,738	△ 262	切手
(2) 消耗品費	50,000	0	31,040	△ 18,960	事務用消耗品
4 負担金	11,000	0	10,540	△ 460	鳥取県研究集会負担金
5 予備費	60,000	0	0	△ 60,000	
合 計	1,550,000	0	690,653	△ 859,347	

(収入) 1,571,326円 - (支出) 690,653円 = 880,673円は、次年度へ繰り越す。

(2) 補助事業会計収支決算

収入の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	決 算 額 の 内 容
1 補助金	330,000	330,000	0	米子市補助金
2 雑 入	0	0	0	
合 計	330,000	330,000	0	

支出の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	備 考
1 事業費	330,000	330,000	0	独自研修開催に係る経費
合 計	330,000	330,000	0	